

済生かわぐち

地域のみなさまと医療のかけはし

済生会川口総合病院 広報誌

ご自由にお持ちください

vol.256

特集

〜地域医療のサポート〜

〜おすすめの生活〜

慢性腎臓病…CKD





はじめに

「どうして、蛋白尿があるだけで、腎機能が少し悪いだけで、診療を受けに来たの？」と言われ、不安な患者さん。「こんな軽微なクレアチニン上昇、蛋白尿で腎臓内科専門医に受診させてもいいのかな。」と考えている地域の先生方。当院、腎臓内科専門外来を活用して下さい。その際には、紹介状で患者さんの状況をお知らせください。

当院では左ページで紹介するよう
な、患者さんが実践できる生活指導や
食事指導を多職種で行い、専門的な検
査で腎臓病の原疾患・腎臓病ステージ
を決定していきます。患者さんは治療
方針が明確になってから、地域の先生
方の下で治療を続けることができるよ
うになります。患者さんには、地域の
かかりつけ医の先生方が心強い存在に
なると思います。

**川口市は、腎臓専門医数1人…
約4000人の慢性腎臓病患者**

「CKD診療ガイド2012」(日本腎臓学会)では、日本では慢性腎臓病(CKD)患者が、成人の約8人に1人であると報告していました。2023年の腎臓病学会では更に増え、成人の約7人に1人であると報告がありました。

また、令和2年埼玉県保健統計年報統計資料の診療従事医師数によると、川口市の腎臓内科医数は19人です。2023年10月の川口市の15歳以上人口が約53・5万人です。これらを根拠にしますと、川口市では、約76万人が慢性腎臓病であり、腎臓内科医1人当たり約4000人の慢性腎臓病患者数になります。

**かかりつけ医の先生方へ連携
のお願い**

埼玉県済生会川口総合病院 腎臓内科では、腎臓内科専門診療を行うことが使命と考えています。腎臓内科医が腎臓病患者診療に特化することで、腎臓病に関して、安心して、信頼して、困った際には気軽にご紹介いただける体制を構築したいと考えています。

腎臓病以外の症状は、他診療科やかかりつけ医での診療を、病状の落ちついた腎臓病患者さんは、かかりつけ医の先生方との併診をお願いします。

**透析治療を受けていない慢性
腎臓病患者さんの生活について
(エビデンスに基づくCKD診
療ガイドライン2023)**

薬物療法や食事療法、合併症など

については、別の機会でご紹介とさせていただきます。患者さん自身が実践する生活習慣を「エビデンスに基づくCKD診療ガイドライン2023」から一部抜粋してご紹介したいと思います。詳細は、成書を参照ください。

1 CKD患者における禁煙



「CKD患者に対する禁煙の介入効果は明らかではないが、禁煙は一般人にも推奨されており、CKD患者でも禁煙を強く勧める」とされています。これは、決定的な証拠をつかむことが難しいため、このような記載になっていると考えられます。私は、禁煙が必須と考えています。

2 CKD患者における飲酒



「CKD患者におけるCKD進展や死亡に関する飲酒のエビデンスは十分でない」とされています。外来でよく質問をされます。一律に禁酒を勧める訳ではありませんが、飲酒をするなら、適量にすることを、私はおすすめしています。

3 コーヒー摂取によるCKDの進展抑制の効果

「コーヒー摂取はCKDの進展抑制



効果が期待できる」とされています。一方、コーヒーをたくさん飲めば、CKD進行が止まる訳ではありませんし、最適量は分かっていません。ただ、コーヒーで、CKD進展リスクが低くなる可能性は、朗報です。

4 保存期CKD患者において、通常よりも意図的に飲水量を増やすことは推奨されるか？



「保存期CKD患者では、飲水量を増やしても生命予後の改善や腎保護効果は期待できないため、通常よりも意図的に飲水量を増やすことは行わないように提案する」とされています。こちらは、1日の飲水量が1.5L程度が適切な可能性が残されており、過度に飲水量を増やす必要はないが、飲水を制限することには注意が必要と考えられています。夏の暑い炎天下などで、飲水量を増やさなくてもよい訳ではありませんので、ご注意ください。

5 肥満を伴わない保存期CKD患者において運動は推奨されるか？

「肥満を伴わない保存期CKD患者において、日常的な運動は蛋白尿増加



をもたらすことはなく、腎機能や身体的QOLの改善をもたらす可能性があるため、合併症や心肺機能を含む身体機能を考慮しながら可能な範囲で行うことを提案する」とされています。かつては、腎疾患は運動を厳しく制限していた時期もありましたので、適度な運動がむしろ推奨されつつあることは、腎疾患診療の大きな変化だと思えます。

6 保存期CKD患者にワクチン接種は推奨されるか？



「保存期CKD患者に感染症予防対策として、B型肝炎ウイルス、インフルエンザウイルス、肺炎球菌に対するワクチン接種を実施することを強く推奨する」こちらは、文面の通りかと思われます。

7 成人の保存期CKD患者に対して、多職種による生活習慣に関する教育的介入は推奨されるか？



「成人の保存期CKD患者に対する多職種による教育的介入は、腎機能低下抑制効果およびCVDイベント※1発生減少をもたらす可能性があり、多職種による生活習慣に関する教育的介入をおこなうよう提案する」(※1 心血管系疾患)こちらは、総合病院の役割と考えています。ぜひ、当院へ患者さんをご紹介いただき、多くの教育的介入を出来るような体制をこの地域で作りたいと思います。

慢性腎臓病患者さんへ

慢性腎臓病患者さんにおける生活に対して患者さんご自身で取り組めることが少し進みました。しかしながら、まだ分かっていないことも多く、これを理解した上で主治医の先生と話をしていただきたいと思えます。無症状に進行する慢性腎臓病の治療を根気よく続けてください。



腎臓内科 主任部長
杉浦 秀和

- ・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- ・日本腎臓学会専門医・指導医
- ・日本透析医学会専門医・指導医
- ・日本老年医学会老年科専門医・指導医
- ・多発性嚢胞腎協会 PKD 認定医
- ・腎代替療法専門指導士

解説します!

放射線検査の被ばくはどのくらい?



「子どもがCT検査を受けるのですが被ばくリスクはどのくらい?」、「同じ月に何度も放射線検査を受けて大丈夫?」など放射線検査のお悩みがあると思います。放射線検査に関するお悩み、ご質問があれば、お気軽にご相談ください。当院では、公益社団法人 日本診療放射線技師会 認定の放射線被ばく相談員や放射線管理士が在籍しております。お悩み・ご質問は、「1階の画像診断センター受付」や「当院ホームページからのお問い合わせメール」でお受けしております。

■ 医療被ばく低減施設

公益社団法人 日本診療放射線技師会が「安心できる放射線診療」を国民の皆さんへ提供するための事業とした認定制度です。当院は2013年5月、埼玉県内で3番目に「医療被ばく低減施設」の認定を取得しておりますので、継続した放射線管理を行ったうえで地域の皆様に安全・安心の放射線検査を提供しております。



認定プレート



医療被ばく低減施設認定証

さて、冒頭のご質問についてはQ&A形式でお答えしたいと思います。

Q 子どもが頭をぶつけてCTの検査を受けました。先月も腰のレントゲン検査を受けています。放射線の影響は大丈夫でしょうか?

A 頭部打撲に対して、診断・治療するうえでCT検査はとても重要な検査です。頭部CT検査において一番放射線の影響を受けるといわれているのは目の水晶体です。水晶体のしきい線量(放射線の影響を受けらる最小の量)に対して頭部CT検査でうける推定放射線量(組織吸収線量)は、しきい線量の25分の1程度です。つまり、一度に同じ頭部CT検査を25回以上受けなければ、ご心配ありません。腰のレントゲン検査で6枚撮影した場合でも、生殖腺のしきい線量の80分の1より少ない線量です。

■ 日常生活でも自然放射線の影響を受けています。

放射線検査をおこなう際は、医療被ばくに伴うリスクより、検査をしないときのリスクが大きい場合のみ医師がオーダーしています。検査に対する説明が不十分な場合は遠慮なくお申し出下さい。



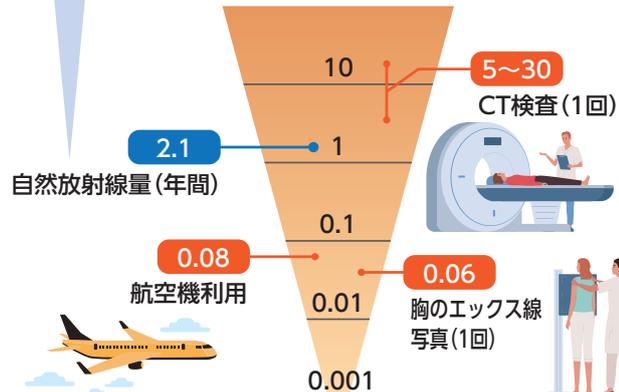
連携医療機関の先生方へ

当院は、医療被ばく低減施設を取得しております。ご紹介いただける患者さんに対して、安心できる放射線検査を提供させていただきます。

■ 日常生活で受ける放射線 ■



放射線を受けた量 (ミリシーベルト)



出典:国連科学委員会(UNDCER) 2008年報告書、(公財)原子力安全研究会「生活環境放射線 第3版(2020年)」



ソーシャルインクルージョンつながり 済生会とSDGs (エス・ディー・ジーズ)

誰もがホッとできる場所「暮らしの保健室」



「誰に相談したらいいのか?」、「誰かと話をしたい、一息つきたい」、「病気のことでちょっと話を聞いてほしい」…。「暮らしの保健室」はそんなとき気軽に立ち寄れる居場所です。地域の中でつながりをつくり、深められるよう、当院では病院の機能を活かしながら様々な取り組みを行っています。今回はその一部をご紹介します。

ほっとサロン



地域の方にとって「気軽にお話ができる場」「安心できる居場所」となることを願い、当院のボランティアさんと病院が協働して開催しています。ゲームや体操、手芸などを楽しみながらおしゃべりすることで、参加者同士の交流や地域の支え合いにつながっています。『ほっとサロンだより』も発行しているので、ぜひご覧ください。

出張健康講座(年2回開催)

保健師やリハビリスタッフから地域の皆さまへ、生活に役立つ情報をお伝えする講座です。また、講座後の相談会では、健康や暮らしのことなど幅広く相談を受け付けていますので、お気軽にお立ち寄り下さい。次回は2月、横首根公民館にて作業療法士による講座(テーマ:認知症予防に有効な体操)を予定しております。詳細は当院ホームページやLINEをご覧ください。



お問い合わせ

済生会川口総合病院 医療福祉事業課 TEL:048-253-8927



生活困窮者支援(なでしこプラン) × SDGs

当院では地域の関係機関やNPO法人などと協働し、さまざまな取り組みを行っています。これらの取り組みを進めることでSDGsの達成にも貢献していきたいと考えています。

SDGsと済生会

SDGsは、スローガン「誰一人取り残さない」の下、国連総会で2030年までに達成すべき「17の目標」として示されています。済生会としては、創設以来の取り組みが、2021年12月、わが国の第5回ジャパンSDGsアワードにて「副本部長(内閣官房長官)賞」として受賞することとなりました。



取り組みのご紹介ソーシャルインクルージョンを考える Web メディアシンク! ▶

当院では、患者さんにより良い医療を提供するため、地域の医療機関の先生方（かかりつけ医）と連携、役割分担をおこなっています。

菊野ホームメディカルクリニック

在宅医療 内科 泌尿器科 皮膚科



当院は、患者さまはもちろん、ご家族様にも寄り添う診療をモットーに2021年埼玉県草加市弁天に開業いたしました。地域住民のみならず、住み慣れた環境でその人らしく充実した日々をお過ごし頂けるよう、在宅医療や外来診療を通して健康面のサポートを行ってまいります。いつも日光のような温かい心で皆様と接し、優しさや温もりと同時に生きる勇気と希望を与えつつ、一人一人の患者さまに寄り添った医療を目指します。



きくの のぶゆき
院長 菊野 伸之 先生

	月	火	水	木	金	土	日
在宅医療 09:00~17:00	○	○	○	○	○	—	—
外来診療 17:00~18:00	○	○	○	○	○	—	—

○外来は予約診療(受付時間16:45~17:45)
○休診日:土曜 日曜 祝日

住所:埼玉県草加市弁天1-26-25
プルミエールモリタ206号室
TEL:048-951-4284

わらび駅前耳鼻咽喉科クリニック

耳鼻咽喉科 小児耳鼻咽喉科 アレルギー科



蕨駅東口スーパーマーケットライフ様の前にある医療ビル2階にございます。女性医師、スタッフによる相談しやすい居心地のよいクリニックを目指しています。小さいお子様から高齢の方までお気軽に受診いただけます。WEBによる順番予約システムもございます。LINEドクターによるオンライン診療も行っています。疾患の治療だけではなく、普段の健康管理も地域クリニックの大切な役割と考えます。症状が軽いつきに早めの受診をおすすめします。診療担当医表はホームページをご覧ください。



むらい ゆうこ
院長 村井 裕子 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	○	○	—
午後	○	○	○	○	○	—	—

○月・火・水・木・金
午前 09:00~12:30 午後 15:00~18:30
○土
午前 09:00~13:00
○Web予約可です
○休診日:日曜日 祝日

住所:埼玉県蕨市塚越1-6-14
第一商事ビル2階
TEL:048-443-3387



連携医療機関検索サービス
スマホで検索可能です



もとはしクリニック

内科 呼吸器内科 アレルギー科 循環器内科



生活習慣病の診断・治療に加え、専門性の高い呼吸器疾患の診療もいたします。適切な検査で患者さんの状態を評価し、あなたが必要とする医療の提供を行ってまいりますので、お気軽にご相談ください。ご自分がどのような病気にかかっており、何を目的として、どのような治療をしていくのか。患者さんにも、病気と向き合うエキスパートを目指していただきたいと考えております。訪れていただいた患者さんが笑顔で日常生活が送れますように、適切な治療をもってサポートさせていただきます。



もとはし のりひさ
院長 本橋 典久 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前	-	○	○	○	○	○	-
午後	-	○	○	○	○	○	-

- 火・水・木・金・土
午前 09:00~12:00 午後 14:00~18:00
- 金曜日午後は予防接種
- 休診日:月曜 日曜 祝日

住所: 埼玉県戸田市喜沢南2-7-14
TEL: 048-431-5500

かわぐちミエルカクリニック

内科 腎臓内科 糖尿病内科 循環器内科 泌尿器科 アレルギー科



私たちは目の前の患者さんと真摯に向き合います。患者さんの日々の体調や病気の状態はもちろんのこと、普段の生活背景や診療内容などの情報も見える化「ミエルカ」することで、患者さんとともに継続できる治療を考えます。また、病気のリスクや健康状態を「ミエルカ」し、未来の健康にも寄り添っていくことも私たちの役割だと考えています。当院は「ミエルカ」を大事にしながら、地域の皆さまの「かかりつけ医」を目指します。



やまかわ たかふみ
院長 山川 貴史 先生

	月	火	水	木	金	土	日
08:00~09:00	○	-	○	-	-	○	-
09:00~13:00	○	○	○	○	○	◎	-
14:00~18:00	○	○	-	○	○	-	-
18:00~20:00	○	-	-	-	-	-	-

- 土曜日は8時~14時
- 休診日:日曜 祝日

住所: 埼玉県西川口5-13-27
TEL: 048-229-8122

院長日誌

2024年1月2日、羽田空港で日航機と海保機が衝突し、海保機の乗組員5名が死亡するという大きな事故が起きました。日航機の乗務員の的確な判断と指示により、乗客・乗組員全員が避難できたことは非常に評価が高く、日ごろの地道な訓練が功を奏したものと思われます。

海保機の機長と管制官とのやりとりの中での指示の誤認がそもそもの原因のようですが、その後この事故を回避することが可能であったいくつかのプロセスをすり抜けたことも確認されています。人は単純なミスを起こす動物であることは間違えありませんので、システムでこのようなことが起こらないようにすることが必要です。当院でも同じようなことが起こるかもしれないことを再認識して準備しなければならないこと、今一度考えなおす機会にしたいと思います。



病院長 佐藤 雅彦

小児健康教室

参加費
無料



オンライン開催です。
ご自宅でゆっくりと視聴していただけます。

テーマ：発達「子どもの困った行動への対処法
～ペアレント・トレーニングのエッセンス」

- 内 容：子どもの心の発達とペアレント・トレーニングについて
- 配信予定：2024年2月13日～2月26日（申込1月15日～）

■ お問い合わせ：小児科 0570-08-1551（代表）
（平日 15：00～16：30）

※事前申し込みが必要です。
詳しくは当院ホームページでご確認ください。



申し込みは
こちらから ▲

初診紹介予約制のご案内



2024年2月1日より、原則、初診紹介予約制となります。

紹介状（診療情報提供書）をお渡しされた患者さんからのお電話でご予約をお取りいたします。

■ 0570-08-1551
（ナビダイヤル）
ガイダンス①

■ 初診紹介予約専用
平日 9：00～16：00

※詳細は、病院ホームページをご確認ください。

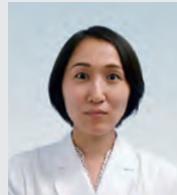
新任医師 紹介



循環器内科
中尾 優



救急・総合内科
戸塚 亮



呼吸器内科
吉川 仁美



呼吸器内科
松井 元介



眼科
真穂 光

【公式】
済生会川口総合病院 ▶
マタニティInstagram



【院外報・済生かわぐち】
バックナンバー ▶



【済生会川口総合病院】
採用情報 ▶

